

地産地消って何？

地産地消という言葉は、最近ずいぶん定着してきましたが、新聞などでは、この言葉は元農林水産省に勤めておられた方が考えられたものと報道されています。国が、地産地消の取組みを「食料・農業・農村基本計画」に自給率の向上に向けて重点的に取組む事項として位置づけを行ったのが、平成17年3月ですので、この言葉自体は、比較的、最近言われるようになったものです。

本市では、平成16年度から学校給食用の米飯に地元産コシヒカリを使用しており、地産地消ということが言われ始めた段階からその取組みを進めてきています。

ところで、地産地消という言葉は、その文字からも、解りますように、元の意味は「地域で生産されたものをその地域で消費すること」ということです。

でも、福知山市地産地消推進協議会では、それだけの内容に限って取組みを進めて来ているわけではありません。地産地消の取組みを進めることで、ふるさと「ふくちやま」の活性化を図るとともに、「食」を通して地域とくらしを守ることを目的としています（なお、この福知山市地産地消実施計画は、食育基本法に規定する「市町村食育推進計画（福知山市食育推進計画）」も兼ねております。）。

みなさんのくらしと地域を守るために、これからも市民の皆様方とともに地産地消の取組みを進めていきます。